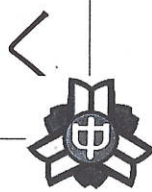


己を磨く



第17号
特別号

R6. 3. 13 発行
文責
神尾進二

校訓に因んで(前日の祝辞)

自律・共生・創造の校訓に関連して、卒業生への『お祝いの言葉』とします。在校生の皆さんも、しっかりと考へ、今後の学校生活に活かしてください。

自律：人になるには

まずは、**自らの足でしっかりと立ててください。**規則正しい生活を送り、しっかりと目標を持って、自分で判断し、確実に実践してください。

共生：人間になるには

次に、**人と人の間をしっかりと考えてください。**思いやり・意見調整・役割分担が必要になります。時には、議論も必要となるでしょう。

創造：人物になるには

最後に、**たくさんの人(人間)と協力して新たな物をたくさん創ってください。**そして、よりよい社会を築いてください。

卒業生の皆さんが、
社会の一員となり、活躍することを、
心より祈念しております。

祝 御卒業 第三十五回生

卒業生のための 在校生による卒業式!!

明日の卒業式のために在校生一同、心を込めて会場設営・予行練習・飾りつけ・見送り準備を行っています。卒業生の皆さん、『在校生の思い』を受け取ってください。



在校生のための 卒業生による卒業式!!

明日の卒業式で卒業生の皆さんの一挙手・一投足(些細な動作を含め全ての言動)によって、在校生に中学生の在り方や伝統の重みを示してください。

在校生の皆さん、『卒業生の決意』を感じてください。

生徒のための教師による卒業式!!

今年度最後の・全校生徒による・最大の学校行事が卒業式です。一年間をかけた集大成と考えております。生徒の皆さん、『教師の期待』を理解し、立派な卒業式を行います。

美術部による卒業垂幕

伝統の美術部による卒業垂幕です。「卒業生のための在校生による卒業式」の表現の一つです。この思いを感じ感謝する卒業生です。



決別・憂愁・喪失 ↓ ○○

峠 眞壁 仁

峠は決断を強いるところだ。

峠には決別のための明るい憂愁が流れている。

峠路をのぼりつめた者はのしかかってくる天碧に身をさらしやがてそれを背にする。

風景はそこで綴じあっているがひとつをうしなうことなしに

別個の風景にはいつてゆけない。

大きな喪失に耐えてのみ
新しい世界がひらける。
(以下省略)

右は、眞壁仁作の「峠」の一節です。明日の卒業式を迎える三年生は、まさに峠をのぼりつめた者であり、今の気分を的確に表現したものではないでしょうか。では、○○には、どんな文字を当てはめますか。希望・期待・決意・・・、これから先は、人それぞれです。これからの路(人生)が、それぞれのように、卒業生の皆さん
新たな旅路の始まりです。

お礼(感謝)

明日の卒業式を迎えるにあたり、保護者・地域の皆様におかれましては、日頃から本校教育活動への御支援・御協力に対しまして、改めまして深く感謝申し上げます。

特に、明日の卒業式では、四十二名の生徒が、義務教育の九年間を修了し、それぞれの道を歩み始めることとなります。自分を律し、思いやりがあり、**どんな困難にも果敢に取り組み立派な第三十五回生**だと教職員一同自負しております。このような卒業生を巣立たせることができますことは、学校ばかりでなく家庭・地域すべての環境が整ってこそその成果であると考えています。

今後とも、本校教育活動への御協力を頂きますようお願い申し上げます。卒業生の皆様も卒業後は地域の一員として、本校教育活動に御尽力賜りますようお願い申し上げます。

※**尽力**・・・**自分自身の能力や資源を最大限に活用し、何かを成し遂げようとする行為のこと。**

立派な卒業生への業務連絡

- 三月三十一日(日)までは本校生徒です。その自覚を忘れないようにしてください。
- 三月の行事等が掲載される今後の通信はHPをご覧ください。
- 三月十五日(金)は公立高校合格発表です。
- 三月二十二日(金)は離任式があります。

※**学年から別紙でお知らせします。**